

# 高松市立栗林小学校 体力向上プラン

## 【学校教育目標】

### よく学び よく遊び よく働く 子どもを育てる

「確かな学力の定着」「健やかな心と体の育成」「心の豊かさの実践」

## 【目標】

- 運動が好きと答える子どもの割合を、H32年度までに85%にする。
- 狭いスペースを活用し、工夫して遊ぶことで、体を動かすことの楽しさを味わい、積極的に運動する子どもを育成する。

## 【取組み】

### なわとび活動

縄跳び検定カードを配布し、年間を通して縄跳び運動に取り組む。さらに、11・12月には「なわとび強化月間」を設定し、各学年に応じた合格ラインを達成した児童に賞状を渡して、児童の意欲を高める。



### 屋上・テラス・中庭等の開放

屋上や3階テラスを開放して運動を行えるようにしている。安全面の配慮として、教員が必ずつく、かつ屋上での運動を縄跳びのみとしている。また、中庭には、鉄棒を設置し低学年が運動できるようにした。



### 体力向上プロジェクト

始業前の時間を利用し、週2回委員会の子どもたちが考えた運動（今年度は縄跳び活動・マラソン）を行い、楽しみながら体力の向上を図る。短縄と長縄に分けて行い、短縄ではミニ大会を実施し、意欲の継続を図る。



### スポーツフェスティバル

各学年、年に1度高松市東部運動公園へ行って運動をしている。ボールを使ったり、リレーを行ったりして、外で思い切り体を動かす楽しさを味わわせる。また、ペア学年でふれあい活動も行い、交流を深める。



## 【現状】

新校舎建設により、運動場がないため、休み時間に外遊びができない状況である。子どもたちは、週に1度、学年に割り振られている体育館使用日に、体育館でボール遊びや鬼ごっこをして遊んでいる。しかし、1学年およそ200人全員が体育館で遊ぶことはできず、教室でトランプをしたり、読書をしたりして過ごしている子どもがほとんどである。

体育の授業においては、近くの仮設運動場を使用しているが、移動時間も含めて行っているため、十分な時間を確保できていない。さらに、仮設運動場を使用できるのは、3～6年生のみとなっている。

## 【本校の課題】

- 全ての学年において、男女ともに総合得点で県・全国平均の値を下回っている。
  - 全体的に握力、シャトルラン、50m走、ボール投げの記録が低い傾向がある。
- 体育の授業以外でも、体を動かす楽しさ、「できた」という自分の技能の伸びを味わわせる必要がある。そして、学校内では十分に運動できる環境が整備できないので、家庭で運動を進んで行う児童を育成する必要がある。